

広
報

かわづ

February 2

2013年 No.486



大人としての決意新たに

1月13日、町成人式 記事2〜3頁



笑
顔
で
記
念
撮
影
す
る
新
成
人

ふるさとへの想いを胸に
謝辞 新成人代表 渡邊武彦
河津を離れて2年が経とうとしています。現在私は、東京で大学生として勉強やサークル活動、アルバイトと充実した日々を送っています。友人の中には社会人として生活している人もいます。その中であらためて、河津の自然、そして人々の温かさの中で育ってきたことを感じています。そして同時に、自慢できる河津の良いところを守り、あとに続く後輩たちが、河津で育ったことに誇りを持てるようにしなければならぬと強く感じています。

私たちを取り巻く社会は、長引く不況や就職難、さらには激しい変動が続く国内外の政治情勢などさまざまな問題があります。以前ならば、このような問題と自分は縁遠い気がしていましたが、成人となった今は、しっかりと向き合っていかなければならず、私たちの責任はずっと大きなものになっていきます。
新成人一同は、今まで育てていただいた両親、家族、先生、地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、また、河津町へ貢献することを胸に、自分の道を友人たちと互いに励ましあいながら精一杯歩むことを約束します。(抜粋)



二十歳の門出を祝福

平成25年町成人式が1月13日、河津中学校体育館で開かれました。晴れ着やスーツに身を包んだ新成人が、大人としての一步を踏み出しました。

式典は、新成人93人（男52人・女41人）のうち74人が出席し、旧友との再会を喜ぶさわやかな笑顔が会場にあふれました。

式典前は、選挙への関心を高めてもらおうと、町選挙管理委員会と町明るい選挙推進協議会による模擬投票が行われました。

式典で相馬宏行町長は、「社会変革の原動力となるのはいつも若々しいエネルギーです。急激に変化する社会のなかで、世界に向かって

て羽ばたくような大きく強い心で夢を実現してほしい」と、新成人にエールを送りました。

新成人を代表して、板垣佐恵子さんⅡ湯ヶ野Ⅱが相馬町長から記念品を受け取り、渡邊武彦さんⅡ大鍋Ⅱが二十歳の決意とともに謝辞を読み上げました。

式典後は、中学時代の思い出の曲「大地讃頌」を、恩師・松村守人先生の指揮、稲葉春奈さんⅡ浜Ⅱの伴奏で全員合唱しました。



模擬投票をする新成人



記念品を受け取る板垣佐恵子さん



謝辞を読み上げる渡邊武彦さん

恩師・松村守人先生の指揮で大地讃頌を合唱



町民の生命・財産を災害から守る

消防団出初式

町消防団出初式が1月5日、河津中学校グラウンドで開かれました。表彰、機械器具の点検、規律訓練などを行い、引き続き、笹原地内を行進して南小学校横の川原で放水訓練を披露しました。稲葉伸晃団長は訓示で、「ひとたび災害が発生すれば、消防団の果たす役割は大きい。町民の生命・財産を守るため、普段から磐石の体制をとってほしい」と団員に呼びかけました。



放水訓練を披露する団員

真冬の白馬で友情はぐくむ

東小学校 白馬スキー交流

東小学校5年生17人は1月17日、姉妹都市の長野県白馬村を訪れ、白馬南小5年生22人とスキーを通して交流しました。スキーが初めてという児童も多く、白馬南小児童の熱心な指導で、最後には一人で滑れるまで上達しました。夏に河津、冬に白馬と互に行き来している両校。5月には、白馬から修学旅行で児童たちが河津を訪れ、みかん狩りや磯遊びを楽しみます。



白馬南小児童にスキーの滑り方を教えてもらう東小児童（右）

避難場所の屋上を目指して階段を駆け上がる園児たち



警察立ち会いで屋上に避難

さくら幼稚園 地震避難訓練

さくら幼稚園で1月18日、警察立ち会いによる地震避難訓練が行われ、園児124人と職員13人が参加しました。地震発生の場合で机の下に一時避難。その後、南小学校の屋上に避難しました。訓練を見学した下田警察署の酒井信吾主任は、「一言も話をせずに素早く行動できました。本当の地震のときも、今日のようにしっかり避難してください」と園児たちに話しました。

エプロンと三角巾をつけて親子で仲良く調理



地元の食材をおいしく調理

親子料理教室

教育委員会主催の親子料理教室が1月14日、役場の調理実習室で行われ、11組28人の親子が参加しました。町健康づくり食生活推進協議会の皆さんを講師に、地元の食材を使った「ひじき入りごはん」、「すいとん汁」、「さつまいものサラダ」の3品を作りました。最初はぎこちなかった子どもたちも徐々に慣れて、野菜を切ったりサラダを盛り付けて調理を手伝いました。



はけを使って仏像のほこりを払い落とす区民たち

240人が新春の町内を快走

元旦マラソン

町元旦マラソンが1月1日、役場をスタート・ゴールに開催され、子どもから大人まで240人が参加しました。2・3・5kmの3コースで、参加者は、心地よい汗を流しながら新春の町内を快走しました。ゴール後は全員に完走証が配られ、おしる粉のサービスもありました。5kmコースを走った78歳の参加者は、「毎年参加しています。気持ちよく走れました」と話しました。



軽やかな足取りで一斉にスタートする参加者たち

ZOOM IN KAWAZU

まちの 出来事

仏像の顔晴れやかに

南禅寺 大そうじ

谷津区の南禅寺で12月23日、区民らによる仏像の大そうじが行われました。南禅寺の仏像群を展示・保管する「河津平安の仏像展示館」が2月20日にオープンするのを前に、約50人が集まりました。約1時間かけて、はけを使って24体の仏像のほこりを一体一体丁寧に払い落としました。仏像の管理・案内をする鶯生忠義おうしょうさんは、「きれいになって仏像がすがすがしい顔をしている。2月のオープンが楽しみ」と話しました。仏像は、2月上旬に展示館に運ばれます。

募金が入った袋を後藤事務局長に手渡し鈴木会長（右）と山本委員長（左）



地域の人たちの善意を寄付

河津中学校 歳末たすけあい運動

河津中学校の生徒会（鈴木丈太会長）と広報委員会（山本春樹委員長）は12月27日、歳末たすけあい運動で集めた募金14万4,357円を町社会福祉協議会に寄付しました。募金活動は、17、18日に校内で生徒と保護者を実施、21日に有志70人が、町内14カ所で街頭募金を呼びかけました。鈴木会長は「地域の人たちの善意を集めることができました」と募金を手渡しました。

図書館カレンダー 2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

今月のおはなし会

「さくらの会」読み聞かせ会

2月はお休みします

乳幼児向けの読み聞かせ

「はらぺこあおむしの会」

0・1・2歳児向け 10時10分～10時30分

2・3歳児向け 10時40分～11時

(毎週木曜日)

2月7・14・21日

幼児向け 14時30分～15時

(第2木曜日)

2月14日

小学生向けの読み聞かせ

「時間のはこぶね」

毎週木曜日 15時50分～16時20分

2月7・14・21日

※おはなし会は読み聞かせ室で行います。
変更がある場合は、図書館に掲示します。

日本絵本賞読者賞に投票しよう

「日本絵本賞読者賞（山田養蜂場賞）」は、24冊の候補絵本の中から読者の投票によって選ばれる賞です。3月下旬の「毎日新聞」、「学校図書館速報版」紙上で発表されます。

文化の家図書館でも、みなさんの投票を受け付けます。あなたが一番好きな絵本を1冊選んで、投票してください。

【候補絵本は、24冊すべて文化の家図書館にそろっています】



「ことばあそび どうぶつえん」



「ゆでたまごひめ」



「おばけのおうちいりませんか？」

新着DVDがそろいました

子どもから大人まで楽しめるDVDがそろっています。貸し出し中のものは、予約することができます。新着DVDの貸し出しは、一家族、1回1本までとさせていただきます。

【新着DVDの一部】

- 1911／ジャッキー・チェン
- 英国王のスピーチ
- ブッダ
- ものすごいうるさくてありえないほど近い
- 借りぐらしのアリエッティ
- ぼくのはたらく建機
- こんちゅうスペシャル100



「ブッダ」、「英国王のスピーチ」



語りかけから、始めよう。

今月のブックスタート

と き：2月28日(木)13時～

ところ：保健福祉センターふれあいホール

対象者：平成24年10月生まれの赤ちゃん

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。
貸出中の場合は予約できます。

書 名（一般書）	著 者 名	出 版 社
螢草	葉室 麟	双葉社
沈黙のレシピエント	渥美 饒児	中央公論新社
想いの軌跡	塩野 七生	新潮社
夜9時からのほっこりごはん	市瀬 悦子	世界文化社
犬から聞いた素敵な話	山口 花	東邦出版

書 名（児童書）	著 者 名	出 版 社
富士山うたごよみ	俵 万智／短歌・文 U. G. サトー／絵	福音館書店
ねむりひめ	荒井 良二	N H K 出版
ちいさなおはなしやさんのおはなし	竹下 文子／作 こがしわ かおり／絵	小峰書店
じいちゃんの森	小原 麻由美／作 黒井 健／絵	P H P 研究所
名探偵コナン推理ファイル 農業と漁業の謎	青山 剛昌／原作 阿部 ゆたか／まんが	小学館

フレッシュ

一人前の技師になりたい

281

臨床検査技師として病院に勤務して2年になる飯田亜美さん。「忙しいけれど、毎日楽しいです」と、仕事にやりがいを感じています。

臨床検査技師は、病気を発見したり体の状態を調べるために、採血やエコー、心電図、尿などの検査を行うことが主な仕事です。亜美さんがこの仕事に興味を持ったのは中学生のとき。体調を崩してエコー検査を受けたことがきっかけです。そんな経験もあり、患者さんと接するとき、「不安な気持ちにさせないように」ということを常に心がけているそうです。

幼いころからピアノを習っ

ていた亜美さんの趣味は、楽器演奏です。中学から大学まで吹奏楽部でホルンを担当。現在も、下田吹奏楽団に所属して、イベントや舞台で演奏しています。

大学を卒業して河津に戻ってきて、あらためて町の良さや人の温かさを再発見したという亜美さん。「職場ではまだまだ新米なので、皆さんに頼ってばかりです。早く一人前に仕事をこなせるようになりたいです」と、力強く目標を語ります。

控えめで優しい笑顔の裏に、亜美さんの芯の強さを感じます。

【取材】渡邊恵美子さん（民間広報協力員）

飯田 亜美さん

いいだ あみ
田中 元吉
25歳 A型 いて座
伊東市立市民病院 勤務



連載 歴史の散歩道 天城のみちすがら 第二話

豆州梨本宿（駅）二

文・稲葉 修三郎

川合野の旧道入口に今も残る、旧天城街道の道しるべ。建立安政元年・嘉永7年（1854年）右三島道、左下田道と書いてある



谷文晁が描いた初景滝



稲葉 修三郎 いなば しゅうざぶろう 1926年生まれ 86歳 川横 てっぽう

町の郷土史研究の第一人者 文芸かわづ編集長、静岡県ふるさと学士、賀茂地区生涯大学藝学園顧問、河津町ふるさと歴史研究会顧問、かわづふるさと案内人会顧問。新聞・雑誌の執筆、テレビ・ラジオの出演など多忙を極める。

町からのお知らせ

テープカットとくす玉開披で開通を祝う



開通区間は、上峰と田中を結ぶ832m。幅員16mの片側1車線で、自転車や歩行者が安全にすれ違える3・5mの歩道を整備。河津川を渡る「かわづいでゆ橋」も新たに整備しました。



開通後の安全を願い、3世代夫婦が渡り初め

「元氣なうちから介護予防」のテーマで、町の介護予防サーピスを特集した号です。チェック項目やデータ、体験談などをもとに、高齢者いきいきセンターで開催している介護予防教室の取り組みを紹介しました。



広報かわづ3月号

ご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございました。

news

開通式で3世代が渡り初め 県道下佐ヶ野谷津線田中バイパス

県道下佐ヶ野谷津線田中バイパスが部分開通し、12月22日、開通式と「かわづいでゆ橋」の渡り初めが行われました。

地元住民などが出席し、テープカットとくす玉の開披が行われ、道路の開通を祝いました。式典後は、下峰地区の吉田徳さん、重好さん、恵太さん3世代夫婦による「かわづいでゆ橋」の渡り初めが行われました。

news

広報かわづが優秀賞 県広報コンクール

平成24年度県広報コンクールで、広報かわづ3月号（平成24年3月発行）が、町広報紙部門の優秀賞を受賞しました。

news and info

news

榎本良治教育長が退任 新教育長は横山宥久氏 任期満了により新教育長就任

任期満了で退任した榎本良治教育長の退任式が1月11日、役場議場で行われました。榎本教育長は、「良い教育環境が子どもたちを健やかに育てるということを念頭に、取り組んできた。子どもからお年寄りまで、多くの人と知り合え

たことが一番の財産」と4年間を振り返りました。1月15日には、横山宥久新教育長の就任式が行われ、横山教育長は、「町民のために、誠心誠意、情熱を持って教育行政に力を注いでいく」とあいさつしました。



写真上 職員に見送られて庁舎を後にする榎本教育長
写真下 就任式で職員を前にあいさつする横山教育長

保健のお知らせ

■健康相談および母子健康手帳交付

日 時 2月18日(月)
13時30分～15時30分
3月4日(月)
13時30分～15時30分
場 所 保健福祉センター

■育児相談

子育てには悩みがつきもの…、一人で悩まないで相談してください。

日 時 3月5日(火)
9時30分～11時30分
場 所 保健福祉センター
ふれあいホール
対象者 子育て中の保護者
内 容 身体測定、離乳食、育児相談
持ち物 母子健康手帳



ふれあいホールにて

■出張健康相談・健康講話

保健師が、自治会や地域のグループの会合に向いて健康相談や講話を行います。希望日の1カ月前までに保健福祉課へ申し込んでください。

テーマ 血圧管理・メタボリックシンドローム対策・認知症の予防など

●今月のテーマ 定番メニューに ひと工夫

健康レシピ③

保健福祉課 ☎34-1937

いつものきんぴらに
ピーマンをプラス

変わりきんぴら

【提供】町健康づくり食生活推進協議会



■1人分栄養量
エネルギー 59kcal 塩分 0.7g

材料（2人分）

ごぼう……………1/4本(50g)
ピーマン……………小1個(20g)
にんじん……………1/6本(25g)
れんこん……………1/10節(20g)
赤唐辛子……………1/3本
白ごま……………少々
ごま油……………小さじ1/2

ごぼうには、不足しがちな食物繊維やカリウムが多く含まれています。ピーマンに含まれるカロテンやビタミンCは、強い抗酸化力で免疫力と体を整えます。熱に強いので、加熱調理しても有効成分が失われません。いろいろ工夫して食べましょう。

だし汁……………25cc
酒……………大さじ1/2
みりん……………大さじ1/2
砂糖……………小さじ1/2
塩……………少々
しょうゆ……………小さじ1

作り方

- ① ごぼうは皮をむき、斜め薄切りにし、下ゆでする。ピーマンとにんじんは千切りにする。れんこんはいちょう切りにし、酢水に入れてアク抜きし、水で洗う。白ごまはいっておく。
- ② 鍋にごま油を熱し、ごぼう、にんじん、れんこん、ピーマンを炒める。だし汁、酒、みりん、砂糖を加えて中火で2～3分煮る。塩、しょうゆを加えて煮汁がなくなるまで煮る。
- ③ 器にきんぴらを盛り、いったごまを振る。赤唐辛子は好みで使う。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成について

区 分	内 容
対象者	65歳以上の人、過去5年以内に肺炎球菌ワクチンの接種を受けていない人（脾臓摘出者・公害認定者を除く）
助成額	接種費用のうち3,000円を助成します。接種費用から3,000円を差し引いた金額を、医療機関へ支払ってください。
接種方法	①印鑑・保険証を持参して、保健福祉課で手続きをしてください。 ②医療機関に予約をして接種を受けてください。
その他	この予防接種は本人の希望で行う任意予防接種です。効果や副反応について十分理解したうえで、接種の判断をしてください。

高齢者の肺炎球菌 ワクチン接種

今年度の「高齢者の肺炎球菌ワクチン接種」の費用助成は、3月31日(日)までです。希望する人は、保健福祉課で手続きをして接種を受けてください。

■助成額 3,000円

【問い合わせ】

保健福祉課 ☎34-1937

ひとの動き

戸籍だより

(12月1日～31日届出)

相談

身近なこと生活相談へ

日時 2月20日(水)、3月13日(水)
10時～15時

場所 保健福祉センター
ボランティア団体室

問 社会福祉協議会 ☎34－1286

人権・行政・生活相談

日時 3月6日(水) 10時～15時

場所 保健福祉センター
ふれあいホール

問 町民生活課 ☎34－1932

日本年金機構出張相談

日時 3月8日(金)
9時30分～11時30分 13時～14時

場所 下田市役所 (要予約)

問 下田市役所 国保年金係 ☎22－3922

お酒の悩みに酒害相談

日時 2月28日(木)
13時30分～15時30分

場所 下田総合庁舎4階 第8会議室

対象 本人、家族など誰でも

内容 断酒会員による無料相談(精神科医による無料相談も同時開催)

申込 電話予約してください。

問 賀茂健康福祉センター 福祉事業課 ☎24－2056

お知らせ

省エネにご協力ください

人口と世帯			
(1月1日現在)			
人口	7,941 人	前月比	(+9)
(男)	3,830 人		
(女)	4,111 人		
世帯数	3,329 世帯	前月比	(+8)



エイズ検査と肝炎検査

検査前日の16時までに電話予約してください。検査は無料・匿名。

日時 2月21日(木)

問診・採血 9時～12時(要予約)

結果通知

エイズ検査 14時～17時

肝炎検査 約1週間後

場所 賀茂保健所1階 相談室

問 賀茂保健所 地域医療課 ☎24－2052

勤労者総合美術展作品募集

募集作品 絵画(油絵・水彩画・版画・日本画・水墨画など)、書、写真、手工芸など

応募資格 県内の働く人なら誰でも出品できます(指導的立場の人を除く)

応募期間 2月25日(月)～3月15日(金)

応募方法など、詳しくはお問い合わせください。

展示会場 グランシップ 展示ギャラリー(JR東静岡駅東側)

展示期間 4月10日(水)～14日(日)

問 (一社) 県労働者福祉協議会 ☎054－221－6241

静岡中央高校通信制のご案内

県立静岡中央高等学校通信制課程の平成25年度新入生を募集します。

受付日 3月18日(月)、21日(木)、24日(日)、27日(水)、29日(金) 24日は一般生のみ

募集定員 1,000人

出願資格 中学卒業またはこれに準ずる人、高校中退者および本校への転学希望者

入学者選抜 書類審査

願書請求 直接学校へ出向くか、返信用封筒(角1封筒に住所・氏名を明記し390円切手を貼付)を同封して郵便請求してください。

問 静岡中央高校東部キャンパス 願書受付係(三島長陵高校内) 三島市文教町1-3-93 ☎055－928－5757

放送大学4月生を募集

平成25年度第1学期(4月入学)の学生を募集します。放送大学は、テレビなどの放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。無料で資料を郵送します。

出願期間 2月28日(木)まで

問 放送大学静岡学習センター ☎055－989－1253

テクノカレッジで学ぼう

沼津テクノカレッジ(県立沼津技術専門校)の平成25年度生を募集します。

募集科定員 機械技術科20人、情報技術科20人、電子技術科20人

定員を満した科の入校試験は実施されることがあります。

訓練期間 2年間

出願期間 2月18日(月)～3月8日(金)

試験日 3月15日(金)

問 沼津テクノカレッジ ☎055－925－1071

今月のふれあい町長室

日時 2月25日(月) 13時30分～1人20分程度 団体不可

場所 役場町長室

予約受付 2月18日(月)～22日(金)

問 まちづくり推進課 ☎34－1924

犬・ねこ引き取ります

飼い主のいない犬・ねこの引き取り

日時 3月6日(水) 13時～13時15分

場所 役場前駐車場

問 町民生活課 ☎34－1932

2月23日は富士山の日

県民が富士山について学び、考え、想いを寄せ、富士山憲章の理念に基づき、富士山を後世に引き継ぐことを志す日として、県は2月23日を「富士山の日」と決めました。

イベント・施設割引情報 県ホームページをご覧ください。

問 まちづくり推進課 ☎34－1924

2月から「ゆずりあい駐車場事業」がスタート

不特定多数の人が利用する公共施設や商業施設の駐車場には、車いすマークの駐車場が設けられています。しかし、一般の人が利用してしまい、本当に必要な人が利用できないという声が多く聞かれます。そのため県では、車いす利用

25年度民間広報協力員

町では、町民の皆さんに親しまれる広報の紙面づくりを行うため、取材や企画などに協力していただく民間広報協力員を募集しています。

任期 平成25年4月～平成27年3月(2年間)

受付 3月15日(金)まで

問 まちづくり推進課 ☎34－1924

利用できる人	次の①～⑥に該当する人 ①身体障害者手帳の、視覚障害(1～3級、4級の1)、聴覚または平衡機能障害(2～3級)、肢体不自由上肢(1～2級の2)、肢体不自由下肢(1～4級)、体幹(1～3級)、内部障害(1～3級)の人 ②療育手帳Aの人 ③精神障害者保健福祉手帳1級の人 ④介護保険の要介護状態区分「要介護2」以上の人 ⑤特定疾患医療受給者、小児慢性特定疾患医療受給者 ⑥妊娠7カ月から産後3カ月の妊産婦
利用方法	対象者の状況に応じて、 車いす常時利用者用(赤色) 、 その他の歩行困難者用(緑色) の利用証が交付されます。車両のルームミラーに利用証を掲げて駐車してください。
利用証の申請方法	保健福祉課の窓口にて、上記①～⑥の状態にあることがわかる手帳、介護保険証、受給者証、母子健康手帳などを持参してください。
ゆずりあい駐車場の案内標示	  車いす常時利用者用(赤色) その他の歩行困難者用(緑色)

伊豆ならんだの里「河津平安の仏像展示館」2月20日オープン 産業振興課 ☎34－1946

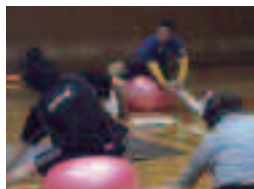


谷津南禅寺の仏像と歴史

11の顔を持つ「十一面観音立像」

頭の上に11の顔を持つ十一面観音は、超人的な力で人々の災いを取り除いてくれる観音として崇拝されています。残念ながら本像は、その力を示す頭上の11面が欠落していますが、胸やひじなど全体に華やかな装飾が施されています。江戸時代に全面的に修復されています。伊豆横道三十三観音の17番札所の本尊です。





教室で指導する半田さん

kawa-jin

かわづの



スポーツが大好きな半田さんにとって、スポーツをしながらく

うです。スポーツ推進委員は、教育委員会から委嘱され、町民体育大会や元旦マラソンなど、町のスポーツイベントの手伝いや、教育委員会が主催するスポーツ教室の指導などを行っています。定例会や実技研修などもあり、多いときには、月に10日も活動することがあるそうです。

町のスポーツ推進委員（旧体育指導委員）として、日々精力的に活動している半田則正さん。半田さんが体育指導委員（当時）になったのは28歳のとき。前委員から、「やってみたいか」と誘われたのが始まりです。

生活の中に一人1スポーツを



スポーツ推進委員として13年

半田 則正さん

はんだ のりまさ

逆川 41歳

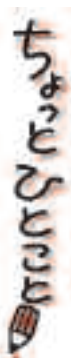
町スポーツ推進委員として、さまざまなイベントで活躍。丁寧でわかりやすい実技指導に定評がある。年齢に関係なく楽しめるニュースポーツの指導に力を注ぐ。河津おもと苑、作業療法士。

『おもしろかった』、『やってよかった』という反応が返ってくることもうれしいです。と半田さん。「目標は、生活のなかに一人1スポーツです。ストレス発散、元気の源、仲間づくり、自分の表現の場所として、たくさんの人にスポーツに親しんでほしいです」。半田さんの活躍はこれからも続きます。

【取材】木下英俊さん（民間広報協力員）

先月号から「連載・歴史の散歩道」を執筆する稲葉修三郎さんが、広報かわづ創刊時からのバックナンバーを保管しているというので、見せてもらいました。記念すべき第1号の発行は昭和42年12月。B5版の4ページで写真より

文字が多め。当時の高崎元吉町長の広報発行に寄せたあいさつや、火災予防、飲酒運転追放、成人式などの記事が掲載されていた興味深く読みました。今月で「486」。毎月何気なく足していた表紙の数字に歴史を感じます。（C）



姉妹都市長野県白馬村通信

「第12回ふるさとCM大賞NAGANO」
白馬村が優秀賞を受賞！



CMに出演した白馬南小の児童たち

長野県内の市町村が30秒の手作りCMを制作し、ふるさと自慢をアピールする「ふるさとCM大賞NAGANO」。第12回目となる今回は、長野県内から91作品が集まり、そのうち25作品が一次審査を通過しました。

白馬南小学校が制作した「裏山発 白馬スキー

100年」は、12月2日に開催された最終選考会において、優秀賞（長野県教育委員会賞）を受賞しました。

白馬南小学校が大切にしてきた裏山スキー場、そして白馬村の100年のスキーの歴史に思いを馳せ、ここでスキーを初めて履いた当時の子どもたちになりきり、その気持ちを想像しながら撮影した作品です。